

平成22年版

環境白書



佐賀県

環境白書の刊行にあたって

本県は、有明海と玄界灘という特性の異なる二つの海に面し、内陸部には緑豊かな山々、肥沃な平野が広がるなど、多彩な自然環境を織り成しています。

佐賀の自然、環境の豊かさは、県民の心を豊かなものにし、また、安らぎを与えてくれています。弥生人の声が聞こえるといわれる吉野ヶ里遺跡や陶磁器などの全国に誇れる佐賀の歴史や伝統ある産業は、この豊かな環境の中から生まれてきました。

一方、環境問題は、身近なごみの問題から地球温暖化をはじめとしたものまで広範多岐にわたっています。

県では、大気汚染や水質汚濁などの公害の未然防止だけでなく、快適な環境づくりの推進を図るため、地球温暖化対策や自然公園整備など各種施策を積極的に講じています。

中でも、平成22年11月2日から7日には、本県において、「第5回3R推進全国大会」を開催しましたところ、5万1千人を超える方々にご参加いただきました。本大会を契機として、一層のごみの減量化、循環型社会の形成に向けての取組をさらに推進していきたいと考えています。

また、昨年10月に愛知県名古屋市で「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が開催され、生物多様性の損失速度の減少に向けた国際的な枠組みについての検討が行われました。

本県では、次期佐賀県環境基本計画の策定に合わせ、生物多様性に配慮した地域づくりを進めるため、「佐賀県生物多様性地域戦略」を策定することとしています。

この「佐賀県環境白書」は、本県の環境の状況や県が実施した環境保全に関する施策をまとめたものです。本書が県民の皆様の環境に対する理解を深め、恵み豊かな佐賀の環境を将来の世代にしっかりと引き継いでいくための具体的な行動の一助となれば幸いです。

平成23年3月

佐賀県くらし環境本部長 古谷 宏

平成22年版環境白書・目次

第1部 総説

第1章 県勢の概要	1
第2章 佐賀県の環境の現況と課題	2
第1節 循環〔環境への負荷の少ない循環を基調とする社会づくり〕	2
1 地球環境の保全	2
2 大気環境の保全	3
3 水環境の保全	4
4 土壌・地盤環境の保全	5
5 廃棄物対策・リサイクルの推進	5
6 化学物質による環境汚染対策等の推進	6
第2節 共生〔人と自然が共生するうるおいのある社会づくり〕	7
1 生物多様性の確保	7
2 地域の多様な自然環境の保全と創造	8
3 自然とのふれあいの推進	9
4 文化的環境の保全と創出	9
第3節 参加と協働〔すべての主体が環境保全に参画する社会づくり〕	10
1 環境教育・環境学習等の推進	10
2 各主体による環境保全行動の推進	10
第4節 環境保全の共通基盤の整備	11
第3章 環境政策の指針	12
第1節 佐賀県環境基本条例	12
第2節 佐賀県環境基本計画	12

第2部 環境への負荷の少ない循環型社会づくり

第1章 地球環境の保全	17
第1節 地球温暖化防止対策	17
1 自動車からの地球温暖化効果ガス排出抑制	19
2 地域新エネルギーの利用促進	20
3 家庭・事業所における温暖化防止	22
4 産業・事業活動における温暖化防止	24
5 森林整備を通じた二酸化炭素の吸収源対策	25
6 環境教育・環境学習の推進	25
第2節 オゾン層の保護・酸性雨対策	26
1 オゾン増保護対策	26
2 酸性雨対策	27
第3節 国際的取組の推進	27
1 日韓海峡沿岸環境技術交流事業	27

第2章 大気環境の保全 **28**

第1節	大気汚染の現況	28
1	大気環境監視体制	28
2	大気環境測定結果	29
第2節	大気汚染防止対策	34
1	工場・事業場の規制	34
2	アスベスト飛散防止対策	37
3	自動車の規制	38
第3節	騒音振動の現況と対策	42
1	騒音・振動の現況	42
2	騒音・振動防止対策	44
第4節	悪臭の現況と対策	46
1	悪臭の現況	46
2	悪臭防止対策	46

第3章 水環境の保全 **47**

第1節	水質汚濁の現況	47
1	水質監視状況	47
2	水域別汚濁の現況	49
3	海水浴場水質調査	56
4	地下水の水質汚濁の現況	58
5	底質調査	60
6	生物学的方法による水質調査	61
7	漁場環境の現況	62
第2節	水質汚濁防止対策	67
1	対策の概要	67
2	生活排水対策	71
3	富栄養化防止対策	72
4	汚水処理施設の整備	72
5	水質保全対策協議会の活動支援	79
6	河川環境整備	80
7	漁場の水質監視	80

第4章 土壌、地盤環境の保全 **81**

第1節	土壌汚染の現況	81
第2節	地盤沈下の現況	81
1	水準測量による沈下状況	81
2	観測井調査	83
3	地下水採取量調査	84
第3節	地盤沈下防止等対策	86
1	代替水源の確保及び代替水の供給	86
2	観測及び調査	87
3	地盤沈下による災害の防止または復旧	87

第5章 廃棄物対策、リサイクルの推進 **89**

第1節	一般廃棄物	89
1	一般廃棄物の現況	89
2	一般廃棄物の対策	93
第2節	産業廃棄物	94
1	現況	94

2	対策	94
第3節	リサイクルの推進	97
1	グリーン購入の推進	97
2	廃棄物のリサイクルの推進	97
3	建設副産物対策の推進	99

第6章 化学物質による環境汚染対策等の推進 101

第1節	P R T R	101
1	P R T R制度	101
2	結果	101
第2節	ダイオキシン類	103
1	ダイオキシン類に係る環境基準	103
2	常時監視結果	103
3	ダイオキシン類対策特別措置法による工場・事業場の規制	105
4	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく自主測定結果	106
第3節	農薬	107
1	農薬安全使用対策	107
2	環境中における農薬実態調査	108
3	食品中の残留農薬等	109

第7章 環境放射能及び温排水の監視 111

第1節	玄海原子力発電所周辺の環境放射能調査	111
1	玄海原子力発電所の概要	111
2	環境放射能調査の結果	112
第2節	温排水影響調査	116
1	拡散調査	116
2	流動調査	116
3	水質調査	116
4	底質・底生生物調査	116
5	付着生物調査	116

第3部 人と自然が共生するうるおいのある社会づくり

第1章 生物の多様性の確保（野生動植物の確保） 123

第1節	佐賀の自然環境	123
1	現況	123
2	対策	124
第2節	自然環境保全地域の保全	125
1	地域の保全	125
2	地域の自然再生	125
第3節	希少種対策	125
第4節	移入種対策	126
第5節	公共工事等自然環境保全対策事業	127
第6節	鳥獣の保護	129
1	現況	129
2	対策	129

第2章 地域の多様な自然環境保全と創造 132

第1節	虹の松原の保護	132
-----	---------	-----

1	保存・管理事業	132
2	再生保全活動	132
3	再生・保全のための作業	133
4	再生・保全のための課題	133
第2節	緑化の推進	134
1	緑化の現況と対策	134
2	重要な森林の保全	136
3	林地開発の規制	136
4	21世紀県民の森整備	137

第3章 自然とのふれあいの推進 138

第1節	自然公園の整備	138
1	概況	138
2	対策	138
第2節	自然観察指導員の育成	141

第4章 文化的環境の保全と創出 142

第1節	豊かで潤いのあるまちづくり	142
1	都市公園	142
2	美しい景観づくり（佐賀らしい景観の保全と創出）	142
第2節	歴史的・文化的遺産の保全と活用	144

第4部 すべての主体が環境保全に参画する社会づくり

第1章 環境教育・環境学習の推進 145

第1節	学校教育における環境教育・環境学習	145
第2節	社会教育等における環境教育	146
1	環境月間行事の実施	146
2	河川愛護月間行事の実施	147
3	こどもエコクラブ事業	147
4	佐賀県校庭芝生化モデル事業	149
5	佐賀県環境サポーター育成・派遣事業	150

第2章 各主体による環境保全行動の推進 152

第1節	地球温暖化対策に関する佐賀県率先行動計画	152
1	概要	152
2	主な取組実績	153
3	グリーン購入	155
第2節	佐賀県「ストップ温暖化」県民運動推進会議	156
1	環境意識の普及啓発	156
2	環境保全の実践活動の推進	157
3	環境情報提供の充実	158

第5部 環境保全の共通基盤の整備

第1節	特定工場における公害防止組織の整備	159
第2節	公害苦情処理	161
第3節	環境影響評価等	164

1	土地利用と環境	164
2	環境影響評価	164
第4節	公害防止に対する助成	165
1	中小企業者に対する融資	165
2	農業者等に対する融資	169
3	税制上の優遇措置	169

参考資料

「佐賀県環境基本条例」	170
-------------	-----